

2020 年度統計関連学会連合第 2 回理事会・組織委員会 議事録

日 時：2020 年 8 月 1 日（土）14:00 – 15:35

場 所：オンラインにより実施

出席者：

【学会連合理事】

理事長	岩崎 学
応用統計学会	富澤貞男，松浦正明
日本計算機統計学会	足立浩平，小木しのぶ
日本計量生物学会	松井茂之
日本行動計量学会	岡太彬訓，菊地賢一（委任状）
日本統計学会	川崎 茂，山下智志
日本分類学会	栗原考次，富田 誠

【連合大会実行委員会】 山本義郎，飯塚誠也

【連合大会運営委員会】 藤野友和，久保田貴文

【連合大会プログラム委員会】 富田 誠，坂本 亘

幹事 阿部貴行，石岡文生，大草孝介

組織委員会・審議事項

0. 前回議事録の確認

前回の組織委員会の議事録が確認された。

1. 2020 年度連合大会実施方法について

- ・ 山本大会実行委員長より，連合大会の準備状況が報告された。本年度契約のコンフィット社のシステムを用いハイブリッド型（現地参加＋オンライン参加）での参加登録開始の準備は完了している。一方，現在の新型コロナウイルスの急激な感染拡大に伴い，ハイブリッド型の学会の場合，補助金の減少などにより収支が大幅な赤字となる懸念が報告された。
- ・ 岩崎理事長より，前回 5 月の組織委員会の時期に比べ，現在は国内の新型コロナウイルスの感染状況が大きく変化したため，6 学会の会長・副会長および連合大会の 3 委員長から連合大会の実施方法について再度意見を聞きたい旨の提案があった。6 学会の会長・副会長および連合大会の 3 委員長から意見が述べられ，組織委員会としては現在の感染状況を鑑み，本年の連合大会は速やかにハイブリッド型から完全オンライン実施に切り替えることが最良であるとの結論に達した。審議の結果，2020 年度連合大会は完全オンラインで実施することが承認された。
- ・ 連合大会 3 委員長からは，当初からハイブリッド型での準備は完全オンラインも 1 つの選択肢としていたため，完全オンラインへの切り替えはスムーズに行える旨の説明があった。完全オンライン実施に伴う技術的な変更点，各種キャンセル手続きおよび市民講演の実施方法の変更などは 3 委員

長で対処する旨が報告された。

- ・ 8月7日の連合大会の参加登録開始前に、連合大会のお知らせ（第五報）を連合大会3委員長で準備し、本年の完全オンライン実施を速やかに周知する。
- ・ また、次年度連合大会も新型コロナウイルスに関して同様の問題が生じると予想されるため、意志決定のタイミングや手順を早めに決めることが望ましい旨が確認された。

2. 2020年度連合大会実施に関わる種々の案件について

- ・ 栗原理事より、今年度のみでの対処として、日本分類学会は連合大会の企画セッションにおいて総会を開催するため、連合大会と独立した学会行事のみに参加し連合大会には参加しない学会員からは連合大会の参加費を徴収しない旨の提案があり、審議の結果、承認された。統計関連学会連合の他学会についても、同様の対処とする。
- ・ 藤野運営委員長より、神屋郁子氏（福岡女子大学）を運営委員に追加したい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

連合理事会・審議事項

0. 前回議事録の確認

前回の連合理事会の議事録が確認された。

連合理事会・報告事項

1. 後援・協賛について

岩崎理事長より、前回理事会から本日までに、次の事業・会議に後援・協賛したことが報告された。

- ・ 日本数学会、日本応用数理学会「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会 2020」の共催

また本年度は、新型コロナウイルスの影響で6月の統計検定試験が中止となったこともあり、統計質保証推進協会からの「統計検定の発展に関する研究」の業務委託は行われたい旨が報告された。

2. 統計・データサイエンス人材育成の今後の展開について

- ・ 山下理事より、統計・データサイエンスに関する教員の人材育成の環境整備に関する要望書が日本統計学会から文部科学省に提出され、政府の骨太の方針にも当該項目が明記された旨が報告された。統計関連学会連合所属の各学会に対して積極的な協力が呼びかけられた。

3. 2022年度統計関連学会連合大会開催地決定の手順について

- ・ 岩崎理事長より、2022年度統計関連学会連合大会の開催候補地について、意見がある理事は岩崎理事長に連絡するよう周知された。

次回連合大会組織委員会及び統計関連学会連合理事会：

2020年9月12日に統計関連学会連合大会終了後にオンラインで開催予定